

「オペラ指揮者コンクールへの挑戦」

丸山 貴大

《企画概要》

ローマ近郊の街オルヴィエートにて行われるオペラ指揮者コンクールに参加をする。予選は歌手とピアノ一台を相手に指揮をし、セミファイナル、ファイナルではオーケストラと歌手を相手に一つのオペラを作っていく。

題材はヴェルディ作曲の『仮面舞踏会』が取り扱われる。コンクール参加者はこのオペラを一本全て用意し、コンクールに臨む。

《目的・達成したい成果》

目標はコンクールにて優勝することである。これまでイタリアで学んできたことやピアニストとして歌手を伴奏した経験や、オーケストラ指揮の経験などをフル活用し、良いパフォーマンスにつなげたいと思う。ヴェルディのオペラは自分が生涯を通じて演奏していきたい曲であり、コンクールに参加することによって、より実践的に曲を深めることができると考えている。

優勝者には2023年にSpazio Musicaという団体の公演でデビューが約束されるので、今後の自分の活動にもつなげたいと考えている。

《プロフィール》

東京音楽大学音楽学部指揮科卒業。東京音楽大学にてパーヴォ・ヤルヴィ、ニルス・ムースの指揮公開レッスンを受講。また藤原歌劇団にて副指揮者を務める。2019年にマルティナーフランカで行われた音楽祭にてコレペティトウアを務める。ノヴァーラ、コッチャ劇場のアカデミー指揮コースを修了。2023年サルソ・マッジョーレ、マッサにてニューイヤークンサートを指揮。また10月にはTeatro CarcanoにてTragedie de Carmenの指揮が予定されている。現在ミラノ音楽院にて研鑽を積んでいる。

またマリエッラ・デヴィーア氏、アンナ・マリア・キューリ氏、ソニア・プリーナ氏、ブルーノ・デ・シモーネ氏など国際的な歌手のマスタークラス伴奏やリサイタル、コレペティトールを多数務める。これまでに指揮を広上淳一、ダニエーレ・アジマン各氏に、コレペティトールをルーカ・ゴルラ、ステファノ・ジャンニーニ各氏に師事。

以上